

広報 **きもべつ**

**特決
特別
号算
2012**



まちの財政状況をお知らせします

平成23年度に実施した

主なまちのしごと

歳入に関わる用語説明

【町税】
町民税、固定資産税、軽自動車税、町民が納めた税金

【繰越金】
前年度から繰り越されたお金

【地方譲与税】
自動車重量税やガソリン税の一部を道路の延長などのあん分で国から譲与されたお金

【地方交付税】
地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるように、一定の基準により国が交付するお金

【国庫支出金・道支出金】
町が行う特定の事業に対して、国や道から交付されたお金

【町債】
町が建設事業などの財源に充てるため、国などから借りるお金

【地方消費税交付金】
地方消費税の一部を人口などによりあん分されて国から交付されたお金

歳出に関わる用語説明

【人件費】
職員の給与・手当・共済費、議会議員及び各種委員の報酬など

【物件費】
公共施設の管理や機器の保守、道路などの維持補修経費

【扶助費】
生活困窮者、身体障害者等に対し、その生活を維持するために支出される経費

【補助費】
各種団体に対する補助金や一部事務組合に対する負担金など

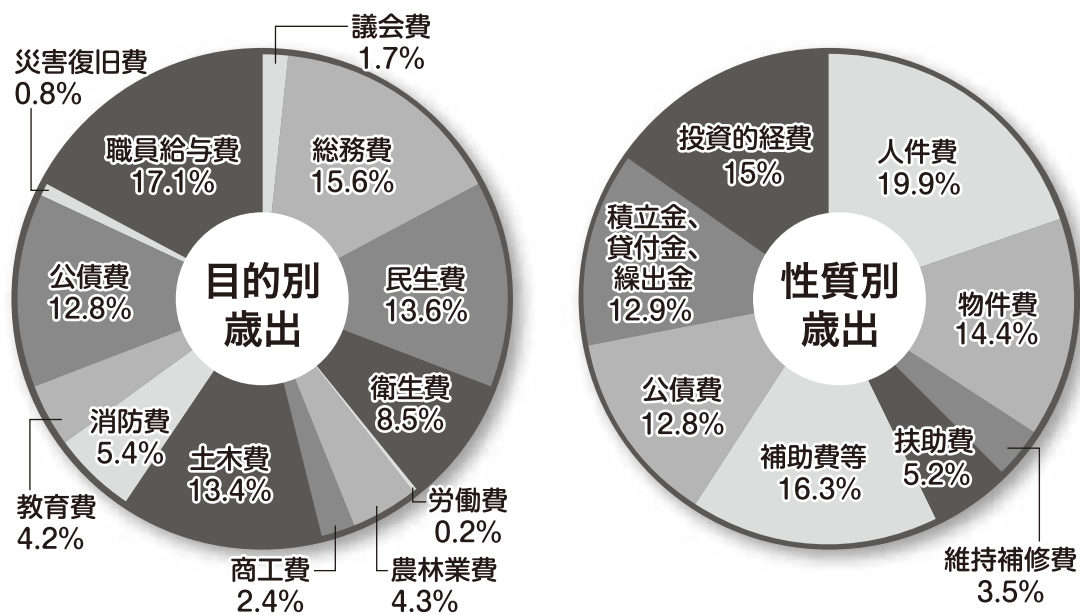
【公債費】
長期の借金の返済金や、一時的に借り入れた資金の利子など

【積立費】
基金の積み立てに要する経費

【繰出金】
特別会計の歳入不足を補う経費

一般会計決算額

歳出 26億4,495万5千円



一般会計決算 歳出(目的別) (単位:千円)

区分	歳出額
議会費	45,993
総務費	412,052
民生費	358,688
衛生費	225,382
労働費	5,371
農林業費	114,601
商工費	62,348
土木費	355,341
消防費	144,054
教育費	110,619
公債費	338,425
災害復旧費	20,918
職員給与費	451,163

一般会計決算 歳出(性質別) (単位:千円)

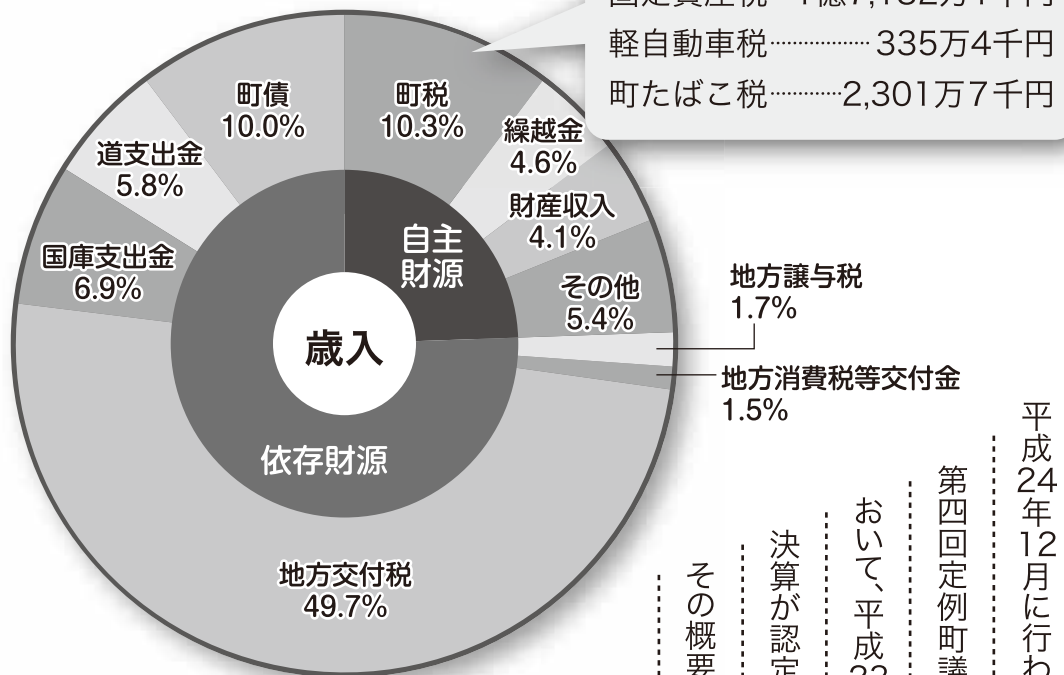
区分	歳出額
人件費	526,091
物件費	381,645
維持補修費	91,437
扶助費	138,385
補助費等	431,609
公債費	338,364
積立金、貸付金、繰出金	339,693
投資的経費	397,731

歳出 年度中の支出の総額は2,644,955千円で、前年度と比較すると209,640千円(7.3%)の減、支出率は96.8%で、1.3ポイント増加しました。また、実質収支は119,620千円の黒字となり、この剰余金は翌年度会計へ繰り越しました。予算の執行率は96.8%となっています。

一般会計決算額

歳入 27億6,478万9千円

一般会計とは福祉や教育、消防などの住民のために行われる基本的な住民サービスのための予算です。



【町税の内訳】
町民税8,314万4千円
固定資産税1億7,132万1千円
軽自動車税 335万4千円
町たばこ税2,301万7千円

地方譲与税 1.7%
地方消費税等交付金 1.5%

自主財源と依存財源

自主財源は675,190千円で歳入総額の24.4%で、前年度に比べ133,012千円、24.5%の増となりました。増額の主なものは、繰越金96,564千円です。一方、依存財源は2,089,599千円で、歳入総額の75.6%を占めており、前年度に比べ349,600千円、14.3%の減となりました。減額の主なものは、国庫支出金401,454千円です。

※自主財源は町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入をいい、依存財源は自主財源以外の歳入のことです。

歳入 年度中の収入の総額は2,764,789千円で、前年度と比べ216,588千円(7.3%)の減、収入率は101.2%で1.5ポイント増加しました。歳入のうち、町税が前年度比1,335万2千円増、地方交付税が4,345万1千円の減。内訳は、普通交付税が1,196,491千円で3.7%の減、特別交付税が178,138千円で1.6%の増となります。特定の目的のために交付される国庫支出金及び道支出金の決算額は348,923千円で、歳入総額に占める比率は12.6%であり、前年度(22.7%)と比較すると10.1ポイント低くなっています。主なものは、活力創出基盤整備交付金42,895千円、きめ細かな交付金55,033千円、社会イノベーション推進のためのモデル事業交付金22,398千円です。

まちの財政状況を
お知らせします

平成24年12月に行われた
第四回定例町議会に
おいて、平成23年度の
決算が認定されました。
その概要についてお知らせします。



自然環境と調和した住みよいまちへ

■町道整備事業

老朽化が著しい町道旧停車場線の歩道設置を含めた改良舗装と、町道町民公園3号線の歩道設置を含めた拡幅改良舗装などを実施し、危険個所の解消と交通安全の確保を図りました。町道、公共施設、駐車場などの除排雪業務、安全な街並みの維持及び美化のため、町道、橋梁、河川、流雪溝、溝渠等の管理、補修、草刈り及び清掃等を行いました。

■公営住宅整備事業

大町団地S57年棟の外壁及び屋根の改修工事、既存住宅の長寿命化、すずかけ団地5棟目の基礎工事を行いました。また、鈴川公営住宅解体跡地に自然エネルギーを利用した若者向け世帯住宅(1棟2戸)を建設し、若年の定住を促進と地域力向上を図りました。

■町民公園、パークゴルフ場の整備

町民公園はじめ町内の公園に設置されている遊具の点検・補修を行い安全対策や美化環境向上を行いました。パークゴルフ場においては、フェアウェイの改修などコース整備を行い利用者により親しまれる施設となるよう環境整備に努めました。

平成23年度パークゴルフ場利用者数

・町外利用者	大人 3,447人
	小人 51人
・町内利用者	大人 1,468人
	小人 8人
・会員	1,331人

地域特性を活かした活力と賑わいのあるまちへ

■アスパラガス・馬鈴薯・かぼちゃの生産振興

アスパラガスの増産対策として関係団体と連携して生産者に対し苗代を助成し、ホワイトアスパラガスの製品率の向上と労働力の省力化を目指し遮光シートに対する助成を行いました。馬鈴薯の病害虫防除に対する助成やかぼちゃ作付時の土壌診断に対する助成を継続しました。

・アスパラガス振興対策事業

平成23年度新植面積 1.09ha 20,490本(ホワイト12,090本・グリーン8,400本)

・ホワイトアスパラガス振興奨励事業

平成23年度導入件数 13件 54本(遮光シート)

平成23年度に実施した
主なまちのしごと



旧停車場線



町道町民公園3号線



鈴川地区若者世代住宅



パークゴルフ場

まちの借金 (地方債)

まちの基金(貯金)と債務(借金)

まちの貯金 (基金)

地方債	平成22年度	平成23年度	前年比
財政融資資金	2,413,536	2,499,786	86,250
旧郵政公社資金	834,058	735,343	-98,715
地方公共団体金融機構資金	244,383	222,910	-21,473
その他金融機関	856,689	924,623	67,934
その他	94,336	80,357	-13,079
合計	4,443,002	4,463,019	20,017

地 方債の平成23年度末残高は44億4,300万2千円で平成23年度から2,001万7千円増加しています。しかし、後年度地方交付税で充当される起債が多く、財政の健全化を示す指標による実質公債費比率や将来負担比率は改善されています。(裏表紙を参照)

基金	平成22年度	平成23年度	前年比
財政調整基金	624,099	687,000	+62,901
減債管理基金	6,197	8,490	+2,293
地域福祉基金	37,413	22,313	-15,100
国鉄胆振線代替輸送確保基金	194,324	190,844	-3,480
水の郷さもべつまちづくり振興基金	39,500	40,407	+907
喜茂別町読書のまちづくり基金	2,000	1,270	-730
喜茂別町福祉人材育成基金	15,000	13,730	-1,270
喜茂別町民間賃貸住宅建設促進基金		35,800	+35,800
国民健康保険基金	107,254	55,706	-51,548
簡易水道施設等整備基金	2,402	2,503	+101
合計	1,028,189	1,058,063	+29,874

基 金とは、一般家庭でいう貯金のことです。町では、将来の財源不足や支出に備えるため、基金という形で貯金をしています。平成23年度末での町全体の貯金残高は10億5,806万3千円となり、人口一人あたりでは約44万円となります。平成23年度から喜茂別町民間賃貸住宅建設促進基金が設立されました。基金の合計は、前年度に比べ2,987万4千円の増となっています。

特別会計の決算

特 別会計では、特定の事業に必要な事業経費を一般会計とは独立して管理しています。本年度から特別会計のひとつだった「老人保健特別会計」が廃止され、本町の特別会計項目は5つとなりました。

後期高齢者医療特別会計においては、年度末被保険者数は478名で昨年度に比べ5名減となっており、後期高齢者医療加入割合は20%で前年度より0.3ポイント増となっています。

平成23年度決算収入・支出の状況(単位:千円)

会計別	歳入		歳出		差引残高
	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
国民健康保険特別会計	156,488	106.8%	144,402	98.5%	12,086
介護サービス事特別会計	45,527	95.2%	45,527	95.2%	0
後期高齢者医療特別会計	31,242	98.6%	31,205	98.5%	37
簡易水道事業等特別会計	78,390	102.2%	74,829	97.6%	3,561
公共下水道事業特別会計	120,301	101.7%	115,608	97.8%	4,693
合計	3,196,737		3,056,526		140,211



総合住民健診



喜茂別町総合計画 本編



比羅夫神社の石段改修



副読本 みんなのきもべつ



図書室



図書まつり



建設中の京極町給食センター

健康づくり推進事業

年齢や対象者に合わせた健康診断や、従来の予防接種助成を拡充。今年から子宮がん及び乳がんのほか、大腸がんの無料健診クーポン券を節目年齢の方に配布し受信者増加に努め、持病の早期発見や生活習慣病などの早期防止に努めました。

【予防接種助成】

- ・インフルエンザワクチン(子ども273人、妊婦2人、その他406人)
- ・子宮頸がんワクチン接種 28人
- ・ヒブワクチン 26人

【健診受診状況】

- ・大腸がん検診 320人
- ・子宮がん検診 61人
- ・乳がん検診 58人

協働による持続可能なまちへ

第5次総合計画策定

平成24年度から平成31年度までの8年間を計画期間とする「第5次喜茂別町総合計画」の策定し、計画書本編及び概要版を作成しました。

水の郷きもべつまちづくり振興事業

地域資源の活用によるまちづくりを目的に、住民団体自らが提案するまちづくり事業に対して支援を行うため「水の郷きもべつまちづくり振興基金」を設立し、交付申請のあった4団体に対し補助金を交付しました。

集落支援活動

平成22年度から2ヶ年にわたり、集落への支援対策・若年の移住対促進対策として集落支援員及び、地域おこし協力隊を導入。集落5地区に各2名の隊員を配置し、地域行事等コミュニティー活動支援業務、高齢者等生活支援活動などの業務を行い、8名の隊員が本町に定住しました。

次代を生きる力を育むまちへ

外国語教育

小中学校における外国語活動として外国語指導助手(ALT)を配置しました。

- ・喜茂別小77時間
- ・鈴川小28時間
- ・喜茂別中27時間

社会科副読本作成事業

小学校社会科副読本を作成しました。

読書図書室開館事業

喜茂別町子どもの読書活動推進計画に基づき、図書室の整備及び図書の本数を増やし、子どもたちの学ぶ意欲を高め、考える力を養うため、図書に親しむ環境づくりを推進しました。

給食センターの建設

京極町が主体となって設置する学校給食センターの実施設計委託業務の負担を行いました。



ホワイトアスパラの遮光シート



馬鈴薯の花



アライグマ捕獲用檻



農作物の被害



交流の森 植樹



デイサービスバス



喜茂別厚生クリニック

有害鳥獣対策

エゾシカやアライグマなどの有害鳥獣被害の対策として、駆除や電気柵の設置に対する支援を行いました。

地力維持増進事業

食の安全志向に応える農産物の生産のため、堆肥の購入助成を行い健康な土づくりを進めました。さらに加工原料の確保と輪作体系の確立を図るためのスイートコーン種子に対する助成を行いました。

・粉碎パーク	24件	4,571㎡
・JAパーク堆肥	13件	636㎡
・緑肥種子	48件	9,560kg
・スイートコーン作付	54件	87.95ha

新規作物導入チャレンジ事業

新規作物へのチャレンジに対しての助成や平成23年度はビニールハウスによる試験栽培の実施に対して助成しました。

・新規作物ハウス栽培先進地視察	2件	422,000円
・新規作物導入試験栽培用ハウス	3件	1,575,000円

森林整備事業

平成21年度に寄贈を受けた「交流の森」の環境整備や林業再生による間伐、作業道の新設を実施しました。

林道開設事業

鈴川福里線の開設工事や排水不良となっていた御園線の改良工事を実施しました。

支え合いの心が元気と安心につながるまちへ

障害者自立支援事業

障害者自立支援法の規定に基づき、障害者の自立を支援するための給付。(障害福祉サービス費、自立支援医療、補装具費)、地域生活支援事業(日常生活用具給付)等を実施しました。

介護保険事業

通所介護サービス(デイサービス)、訪問介護サービス(ホームヘルプサービス)居宅介護支援サービス(ケアマネージメント)など高齢者が自立した生活を支援するため、総合相談業務を行い、内容に応じた介護サービスなど関係機関との調整を行うとともに、在宅福祉サービスの充実に努めました。

介護を予防する事業

高齢者の自立した生活を支援するための事業を実施しました。

・生きがいデイサービス事業	33人
・配食サービス事業	585人
・お風呂利用サービス事業	5,298人
・除雪サービス事業	381世帯 出動日数のべ59日
・外出支援サービス事業	参加人数のべ242人

地域医療の確保のための助成

喜茂別厚生クリニック及び倶知安厚生病院産婦人科医師確保や救急当番病院の運営費について、JA北海道厚生連に補助を行い、地域医療及び救急医療の確保を図りました。

町民一人あたりでみる 平成23年度の決算

支出合計
一人あたり

110万3,436円

※「一人あたり」は平成23年3月末現在の
総人口(2,397人)で算出しています。



議会費

町議会の運営に要する経費

1万9,187円



総務費

町の全般的な管理経費や地域振興
などのイベント経費、選挙などの経費

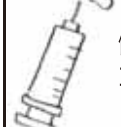
17万1,903円



民生費

高齢者、障害者、児童福祉など
住民福祉の増進にかかる経費

14万9,640円



衛生費

健康診断や予防接種などの保健衛生関係、
ゴミ処理などの環境衛生関係の経費

9万4,026円



労働費

労働者の活動を守るために
かかった経費

2,240円



農林業費

農業振興や農地改良のために
要する経費

4万7,810円



商工費

商工業や観光振興のために
要する経費

2万6,010円



災害復旧費

災害時の復旧活動に
かかった経費

8,726円



土木費

道路や河川の改良維持管理に
要する経費

14万8,244円



消防費

住民の生命や財産を守るための
救急活動や消防のための経費

6万997円



職員給与費

町職員に給与として
支払われる金額

18万8,219円



教育費

学校教育関係や生涯学習、文化財保護など
の関係経費や図書室運営に要する経費

4万6,148円



公債費

町が借入れている借金の
返済金

14万1,186円

将来負担比率

町が将来支払う可能性がある負
債の一般会計に対する比率。

→前年比36.7ポイント減少しました。

平成22年度 55.5%	平成23年度 18.8%
-----------------	-----------------

経常収支比率

1年の行政運営のために必ずかかる経費と町
税や地方交付税など使途の決まっていない収
入との割合。財政状況の弾力性を示す指標。

→前年比9.6ポイント増加しました。

平成22年度 79.1%	平成23年度 88.7%
-----------------	-----------------

まちの財政は 健全?

平成23年度決算
に基づいて、喜茂別町の財政健全
化についての指標は、すべての比率
において基準を下回り健全段階で
あるという結果になっています。

資金不足比率

(簡易水道事業等特別会計、
公共下水道事業特別会計)

それぞれの特別会計
において、資金の不足
額に割合を示す指標。



→喜茂別町は資金不足になっ
ていないため**問題ありません。**

実質公債費比率

一般財源の規模に対する公債費の
割合。18%以上になると町債の発
行に許可や制限を受けるなど制限
が設けられる。

→前年比2.1ポイント減少しました。

平成22年度 11.8%	平成23年度 9.7%
-----------------	----------------

連結実質赤字比率

一般会計、特別会計
において、すべての収
支総額が赤字となっ
た場合の財政の規模
に対する割合。



→喜茂別町は赤字額がないので
問題ありません。